

西中図書館 新刊オススメ本



『たまごの旅人』
[近藤史恵 著]
実業之日本社

念願かなって、海外旅行ツアーの添乗員になった主人公・遥のお仕事小説。ツアー中、思いもよらないトラブルやクレームに直面した主人公が、悩みながらも成長していく様子を描いた連作短編集です。コロナ禍で旅行業界が受けた大打撃から職を失い、新たな旅立ちに挑んでいく姿は、これからの明るい未来を予兆するような爽やかな読後感です。アイスランド、スロベニア、パリなどの世界の有名観光地の風景やご当地グルメなど、読みながら海外旅行気分も味わえます。ぜひ一度読んでみてください。



『最後に「ありがとう」と言えたなら』
[大森あきこ 著]
新潮社



『神曲』
[川村元気 著]
新潮社



『残照の頂』
[湊かなえ 著]
幻冬舎



『熔果』
[黒川博行 著]
新潮社

町民ギャラリー 出ヶ原和紙作り講座

町公民館では、地域文化を再生し、和紙の新たな可能性の発見を目的とした「出ヶ原和紙作り講座」を昨年度から開催しています。前月号に続き、本講座に参加した皆さんが自分で漉いた出ヶ原和紙を使って作成した作品を紹介します。

今日は、酒井徳子さん（9町内1）の作品です。

①

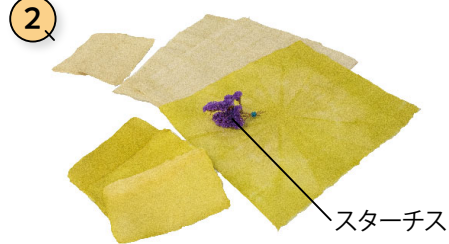


作品によせて...

私は良質な出ヶ原和紙を漉くことに重点を置いて、大きさや厚さがさまじまな和紙を漉いてみました。中には、ちりを混ぜて漉いたものや模様と色をつけたものもあり、その1つをブックカバーにしてみました。また、②の写真は、紫色のスターチスという花で染めたのですが、黄緑色に染まりとても驚きました。思うような色が出ないところもまた楽しみです。

会津藩の御用紙として高品質な和紙を作っていた先人の方々の苦勞に思いを馳せつつ、昔ながらの良質な出ヶ原和紙の復興に取り組んでいきたいです。

②



スターチス



自分の夢や、町の将来への思いを発表 第30回子ども主張大会を開催！

子どもの主張大会は、次世代を担う子どもたちが日頃感じていることを発表することにより、自立心の向上を図ることを目的として、平成4年度から開催しています。昨年12月4日、「第30回子どもの主張大会」が西会津中学校多目的ホールで開催されました。今回は、個人の部で町内の小・中・高等学校の児童生徒9人、団体の部で町内の小・中学校から4団体の発表がありました。個人の部では、将来のなりたい職業や将来の夢などの堂々とした発表が行われました。なかでも、自分が薦める本について紹介する「ビブリアバトル」の県大会で優勝した折笠遥南さん（西会津中3年）の発表は、表情豊かに身振り手振りを交えながら本の紹介をする姿が印象的で、知らぬ間にその本の世界に入り込んでしまうかのような発表でした。団体の部では、西小生による米の魅力とおいしさについて、こども研幾塾による活動発表がありました。また、西中生からは町の資源を生かした施設作りや、町におしゃれなカフェを作りたいという発表があり、中学生の視点から見た町の将来像に関する発表がありました。